

第3回那珂珂川町第九を歌う会演奏会

町民の融和と交流を図ろうと平成19年3月に発足した「那珂川町第九を歌う会」(古沢實会長)では12月13日、小川総合福祉センターあじさいホールで第3回演奏会を開催しました。

同会95人の老若男女のメンバーのほか、宇都宮高、宇都宮女子高の合唱部や音楽部管弦楽団、オーケストラ部の約90人の生徒、宇都宮のドン合唱団のメンバーらが一丸となって、ベートーヴェンの交響曲第九番などを披露しました。



今回で3回目の公演となった「第九を歌う会」。演奏会は午後1時と3時の2回公演で、最初に宇都宮高校音楽部管弦楽団と宇都宮女子高校オーケストラ部合同による「カルメン組曲」(ビゼー作曲)の演奏、続いて「荒城の月」や「翼をください」などを合唱した後、交響曲第九番「合唱」より第4楽章(ベートーヴェン作曲)を歌いました。

今年、参加者の歌声もレベルアップ。今年は、反響板20枚を新設したこともあり、町内外から訪れた約700人の聴衆からは、例年より迫力ある歌声に歓声と盛大な拍手が沸き上がっていました。

最後に指揮者の藍原寛治先生(宇都宮高校)からあいさつがあり、「多くの方の支え



により、無事公演することができました。また、歌う会の皆さんの音楽への前向きな姿勢は、とても良かったです。また、来年もお会いしましょう」と来年の再会と更なる飛躍を誓い合いました。



観客の皆さんの感想 (アンケートの結果より)

今回で2度目ですが、すごく洗練された歌声でした。那珂川町の宝物として永遠に響くことでしょう。楽器と声とのハーモニーも昨年よりずっと素晴らしい!本当にお疲れ様。私達にステキなプレゼントありがとうございます。

(町内・50代夫婦)

とても素晴らしい演奏、歌声でした。この演奏会が、これからも続くことを期待します。いつか、私もステージで歌ってみたいです。来年も楽しみにしています。

しみにしています。

(町内・40代女性)

合唱素晴らしいです。もっと広い場所で聴きたいと思いました。ソロの先生方、お忙しい中、練習が大変だったと思いますが、素晴らしい歌声で感動しました。この活動が、小さな田舎の町の文化の発展に貢献していくと思います。ぜひ続けていけることを望みます。

(町外・50代女性)

住民が参加しての温かいアットホームな演奏会で大変良かったです。音楽のある町づくり、素晴らしいと思います。永く続けてください。

(町外・40代女性)



旧馬頭東中学校で
草刈り

11月29日、東部地域の有志による学校林の復元（草刈り）活動が行われました。

一昨年3月に廃校となつてから学校林は荒れ、かつて全国一位に輝いた東雲台の森をそのままにはおけないと、地元有志30人が草刈り機を持って参集し、久しぶりに山一面に快音を響き渡らせました。

参加者の皆さんからの「これからもこの緑の山を守り続けよう」との声の高まりを受けて、東雲の森を守る会では、今後、年2回（6月と11月）の活動を予定。募集の際には、奮ってご参加下さいとのことでした。



わがまちCMコンテスト

総務省関東総合通信局主催の「わがまちCMコンテスト」に当町のCMを出展するため、12月14日、宇都宮メディア・アーツ専門学校の学生が来町し、町内各地で撮影をしました。

同コンテストは、関東地方の都県市区町村を題材に故郷の魅力を伝えるCMを募集するものです。

学生の皆さんは、「母親の故郷を訪ねる女子学生の旅」といったドラマ風のCMなどを撮影していました。

出来上がった作品は、町ケーブルテレビなどでも放送予定ですので、ぜひ、お楽しみにお待ち下さい。



県中学校作曲コンクール
でダブル受賞

第41回栃木県中学校作曲コンクールで小川中学校2年の高橋文花さん（谷田）が準特賞（県議会議長賞）、小杉文香さん（片平）が優秀賞（県教育長賞）をそれぞれ受賞しました。

二人は共に吹奏楽部に所属し、クラリネットを担当。今回、初めて作曲に挑戦し、南那須地区代表として、県の審査に臨み、今回の受賞となりました。

同じ学校からのダブル受賞は、近年にない快挙で、お二人は「今後も吹奏楽を続け、音楽を頑張っていきたい」と語ってくれました。



那珂川町産
「とちぎ和牛」で食育

12月18日、町内の各学校の給食に長山幸雄さん（小砂）が育てた地元産「とちぎ和牛」が育てた地元産「とちぎ和牛」77kgで調理した牛丼が出されました。

これは、町内において生産された牛肉の消費拡大と地産地消を推進することを目的にJANA南和牛部会が年2回実施しているもので、馬頭小学校4年2組の教室では、児童の皆さんと一緒に大金伊一町長ほか関係者の皆さんが、栄養士による食育の授業を受けながら、給食を食べました。

高級和牛の牛丼は、「柔らかくて美味しい」と児童の皆さんにも大好評でした。



親子わくわく塾で
ミニ門松作り

12月19日、小川公民館で親子わくわく塾を開催、町内の親子9組23名が参加してミニ門松を作りました。

親子で協力をして門松の芯となる竹を束ね、「モ（わら）を巻きつけて出来上がった門松に、南天の実や松ぼっくり等を飾りつけて、個性溢れる門松が出来上がりました。

門松は年神様を迎え入れるための依代よりしろとされており、参加者の皆さんは、それぞれ工夫した自慢の門松で来年の年神様をお迎えする準備をしていました。

